

70

大日本帝國政府

滿洲側必要之自由爲條件

經濟部公函 經貿爲第一八七號

康德十年八月三十日

經濟部 貿易司 長

駐日大使館經濟處
山梨參事官 殿

特圖勘定協定ニ關スル件

康德十年七月二十一日附ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件ニ關シテ日本側對獨交渉困難ナル趣諒承當方トシテモ根本對策ヲ講ズル要有ルモ目下ノ情勢ヨリシテ遽ニ在歐公館ヲ閉鎖縮少セラレザルモノ有之銳意日本側趣意及方針ニ從ヒ對歐爲替ハ可及的ニ壓縮可致ニ付左記ノ通交渉相煩度右及回答

駐日滿洲國大使館

龍王國一...

駐日滿洲國大使館

交遊路歐風亦及同答
 日本側意及式檢ニ於テ機測微管ハ何及諸ニ強斷可遊ニ於式強ハ能
 下ノ新機Eレニマ蘇ニ海難公館ニ閉館辭少ナリセリヤチハ百ニ強意
 權機交遊困難ヤハ強蘇承當式イニマテ財本權策ニ頼スハ要耳ヤチ目
 現時十平十月二十一日州ニ以テ照會ニ附シ首題ノ特ニ關シマ日本側
 辨圖蘇家樹家ニ關スル事

山 樂 器 專 官 題
 攝日大勢前報荷銀

事務部 賢 長 頁 長

現時十平八月三十日

駐日公使館 事務部 第一八七號

一、貴信(一)項ニ關シテハ日本側意滿充分諒承セリ
 二、貴信(二)項在歐公館費一二〇萬圓及在留居留民經費ノ内譯左ノ通
 リトス

(イ)歐洲第三國貨(瑞西フラン等)ト交換ノ必要アルモノ

駐 獨 公使館費用	二七五二七〇圓
駐 漢 堡 總 領 事 館 費 用	六〇,〇〇〇圓
駐 伊 公使館費用	二九六七〇〇圓
駐 西 公使館費用	二六八〇三〇圓
計	九〇九,〇〇〇圓

右ハ最少限度所要額ニシテ特別臨時増額等一切含マザル經常
 的ノモノナリ

(ロ)在柏林公使館ニ於テ歐洲第三國貨ト交換ノ必要ナキ單ナル封
 鎖馬克ハ公使館經費獨逸人人件費、備品費、招待費及其ノ他
 雜費トシテ三〇〇,〇〇〇圓ヲ要ス

駐日滿洲國大使館

總費イマテ三〇〇、〇〇〇圓ヲ要ス
 餘額東へ公費前報費餘額人々升費、用品費、旅費及耳ノ餘
 何亦由林公費前報ニ付テ三國管イ交換ノ必要ヲ示シテ
 由ノテハナリ
 本へ景少財現預費ニマテ特別留保費一〇合マテ
 信
 二六八〇三〇圓
 二六六〇〇〇圓
 六〇、〇〇〇圓
 二五五二〇〇圓

(2) 滿洲國三國管(一) 滿洲國(二) 支那(三) 交換ノ必要マシテ、
 二貴言(一) 東洋通商公費一、二〇萬圓及支留留保費ノ内額式ノ概
 一貴言(二) 支留留保費ハ日本關憲附次代額示サレ
 (一) 其ノ他滿洲中央銀行駐在員、滿鐵駐在員及在留居留民經費ト
 シテ七〇〇、〇〇〇圓ヲ必要トシ右金額中駐在員生活費トシテレ
 ジスター馬克買入ニ要スル資金約五〇〇、〇〇〇圓ハ第三國通貨
 ト交換ノ要アルモノト認メラル

三、貴信(一) 項エツシヤーウイス社發駐水車代金ハ要支拂額一、五四九
 四〇〇瑞西フランニシテ右ノ内至急支拂ヲ要スルモノ一七〇〇
 〇〇瑞西フランアリ
 右發註貨物引取ノ如何ハ滿洲諸計畫ニ影響スル甚大ナルモノ有
 之ニ付特ニ御留意相成度
 尙同社關係ノ過去ニ於ケル支拂實績及今後ノ支拂計畫別紙添附
 ス
 四、貴信(二) ニ關シテハ貴方取引ノ通り此種諒解有レバ足ルモノト思
 料スルモ必要ニ願ジ申銀及正金間ニ於テ特別覺書作成ノコトト
 致シ度
 五、貴信(三) 内逆柳運賃ニ關シテハ獨逸船ニ依ル貨物運送代金ナルヲ以

